

「文と文をつなぐ言葉」3

★いろいろなつなぎ言葉を知ろう。

一、教科書六十二ページを見て、()の中に言葉を入れましょう。

組 番名前

--

	例文	働き	つなぎ言葉
--	----	----	-------

田中さんは、歴史に興味がある。
だから、よく博物館に行く。

前の文を()とする文が、だから()

母と衣料品を買いに行った。**しかし**、

前の文を()になるよう

気に入ったものは見つからなかつた。**しかし**、

な文が、次に来ることを表す。

健康をたもつには、十分なすいみんが欠かせない。**また**、栄養のある食事も必要だ。

前と後ろの文が、()よう

にならんでいることを表す。前の文に、後ろの文を()

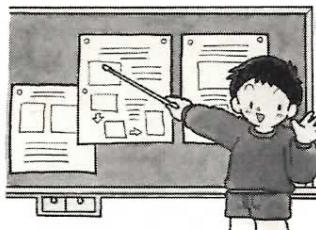
にならんでいることを表す。前の文に、後ろの文を()

健康をたもつには、十分なすいみんが欠かせない。**また**、栄養のある食事も必要だ。

前と後ろの文が、()よう

にならんでいることを表す。前の文に、後ろの文を()

健康をたもつには、十分なすいみんが欠かせない。**また**、栄養のある食事も必要だ。



二、上のつなぎ言葉と同じ働きをする言葉を、下から選んで線でつなぎましょう。

ア だから

さて

イ それとも

それで・そのため

ウ しかし

けれども・でも

エ ところで

または・あるいは